

令和7年度 第2回 自転車活用推進に係る懇談会 会議摘録

【開催日時】 令和7年10月6日（月）10：00～11：00

【開催場所】 川崎市役所本庁舎 16階 1603会議室

【出席者数】 出席5名、欠席5名

議事1 これまでの確認状況について

事務局 「資料1」に基づき説明

事務局 ・ただ今の説明に対し、ご意見、ご質問等がありますか。

※委員より特に意見、質問なし

議事2 川崎市自転車活用推進計画の改定について

事務局 「資料2 川崎市自転車活用推進計画改定検討案（概要）」に基づき説明

事務局 ・ただ今の説明に対し、ご意見、ご質問等がありますか。

鈴木委員 ・通行環境の整備による自転車事故の減少について、p22に記載のあるデータは県全体、市単独のどちらのデータか。

事務局 ・川崎市内のものであり、県全体ではない。

鈴木委員 ・交通ルールを遵守して通行することで自転車事故の軽減につながる、ということを伝えていくとよい。

鈴木委員 ・駐輪需要の推計について、人口の変化率は年齢層とか目的ごとに分けて計算しているか。

事務局 ・人口の変化率は、それぞれの年代（年少人口、生産年齢人口、老年人口）に区分して設定している。全体的にみると令和17年にピークを迎えるが、年齢層別にみると高齢人口は増えていくが、生産年齢人口、年少人口は減少傾向が続くと予想している。

鈴木委員 ・駐輪需要は目的別に異なると考えるが、目的別の利用も想定して駐輪需要を予測しているのか。

事務局 ・駐輪台数は、生産年齢人口の推移を基に予測することで、市営駐輪場利用の主な目的である通勤需要を中心とした予測としている。放置自転車台数についても、駅周辺の自転車利用の状況を想定し生産年齢人口の推移を基に予測している。

鈴木委員 ・駐輪台数について、通勤を中心とした予測という認識でよいか。自転車活用の推進のための計画として、多様な駐輪需要に対応していくことも検討していくとよいのではないか。

事務局 ・駅周辺の市営駐輪場の利用実態を踏まえ、主に通勤している方を中心に予測をしたという形である。多様な自転車活用に対応する予測という観点では、把握できない部分があることを認識している。

鈴木委員 ・多様な自転車利用に関して、利用の拡大に合わせて検討していく、ということになると思われるため、そのような記述があるほうがよい。検討いただければと思う。

鈴木委員 ・自転車保険の加入に関する項目が評価指標となっているが、他にも交通ルール・マナー啓発に位置付ける安全教室の開催などを、保険加入のみで評価することは適切かどうか。例えば、安全教育全に対する改善に関して、課題と目標がリンクするような指標を検討したほうがよいのではないかと思う。

絹代委員 ・評価指標について、概要版に数値が記載されているが、数値的な記載が無いように思われる。今が第3期で、第4期の目標は記載されているか。

事務局	・表現がわかりにくく申し訳ない。自転車活用計画としては現在が第2期で、次期が第3期となる。記載している内容は、第3期の目標値とみていただければよい。
絹代委員	・計画の中で、色々な内容に「マナーアップ」と書いてあり、実際の内容としては「ルール」が書いてある。日本全国として、必ず遵守しなければいけない交通ルールであり、マナーではない。マナーという表現は見直し、交通ルールに統一できないか。p60にあるチェックシートも、内容は全て交通ルールのこととなっている。
絹代委員	・川崎市の人口は、増加していくと予測されているが、一方で自転車需要は減少していくと予測している。自転車活用する必要は何か。 ・電動アシスト自転車が浸透し、70歳以上の高齢者も自転車で移動しやすくなっており、今後、高齢者の自転車利用が増えてくると考えられる。国では、高齢者の移動も考慮した検討を進めており、今後、乗り手が移り変わってくる、というところを考慮して検討いただきたい。
絹代委員	・例えばフランスでは、自転車、ウォーキングを日常の一部にすることを明確に示すなど、国としての自転車活用のビジョンを明確にしている。活用推進の素案を見ると、国が推進している、県が推進している、という感じに見受けられる。 ・どうして市民に自転車を使ってもらおうとしているのか、なぜ自転車なのか、より明確なビジョンとして描いてほしい。
絹代委員	・自転車活用や安全教育などの広報、イベント出店の流れが記載されているが、イベントでの情報発信では来場した人だけの周知であり、一般の方にも伝わる広報の検討が必要。少人数でも伝わる方法を検討してほしい。 ・自転車ネットワーク計画について、網羅的に整備を進められていて素晴らしい。ただし、自転車専用通行帯でも路上駐車がされたり、交差点前で左折車が車道左端を塞いだりしている。ドライバーに対しても、整備した意味を伝えていく運動を進めるなど、ドライバーへの周知を盛り込んでほしい。
絹代委員	・自転車活用のうちp105の観光施策について、オリンピック、醸成イベントの開催など、自転車の活用推進に直接的には関係のなさそうなものが記載されている。BMXを推進していくというイメージなのか。
事務局	・BMX、キッズバイクなど、自転車に興味を持ってもらうきっかけとなるものとして、イベントを位置付けている。
絹代委員	・観光視点での自転車活用としては、オリンピック、ストリート系の取組はあまりそぐわないイメージがある。もう少し、BMXのことであるとか、記載を丁寧にしておく必要がある。
絹代委員	・環境との連携としてアクションプログラムを見てみたが、自転車に関する事業はあまり含まれていなかったと感じる。環境面での効果は、自動車から自転車へのシフトがあって初めて効果がある。 ・その場合、歩行者の安全が確保されていなければ、自転車が悪くみられることも考えられる。電動キックボードの課題も含めて、歩道の安全を確保し、歩行者を守ることをもう少し強く書いてほしい。
事務局	・1つめ、交通ルールとマナーアップに関する記載について、他部署との関係もあるため、調整、整理していきたい。 ・2つめ、需要予測について、人口推計としては当面は増加傾向が続く形であるが、自転車の関連している要素、駐輪台数、放置自転車台数については、駐輪場の利用実績やパーソントリップ調査からの長期的な減少傾向も考慮し、将来的には減っていくだろうと予測している。 ・3つめ、通行環境整備について、自転車専用通行帯での路上駐車等については国のガイド

ラインでも記載されており、迷惑駐車に対する注意喚起の看板の設置やキャンペーン等を実施してドライバーへの周知を行うとともに、川崎駅周辺で荷捌き場の整備を行うなど取組を進めている。警察や関係局区と連携しながら進めていきたい。

- | | |
|------|--|
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none">・ 4 つめ。広報に関して年 1 回と記載しているが、他の機会でもキャンペーン等を実施したり、市広報に掲載するなど、情報発信ができる機会をとらえてできることをやっている状況にある。 |
| 絹代委員 | <ul style="list-style-type: none">・ 自転車活用について、「なぜ川崎市がやるのか、その理由は何か」の部分を明確にする、メリットの部分を示していく、理解を上げるようにテーマを伝える、伝わるための文言があるとよい。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none">・ 自転車活用を進める理由や想定するビジョンについて、しっかり伝えていく方法を考えていく。 |
| 金子委員 | <ul style="list-style-type: none">・ 駐輪対策の利用満足度に関して、我々駐輪場運営事業者によるアンケートを参考にされていると思う。協会では中部、北部ブロックの駐輪場の運営を行っているが、意見として一番多いものは「屋根を付けること」である。それについてどう捉えているか。・ 概要版の p2 の右下にある夜間の放置状況の写真については、差し替えたほうがよいと思う。・ 概要版の p3 のうち自転車交通事故の目標値について、第 2 期に対して第 3 期の目標が 930 件と増えている理由は何か。青切符制度も始まって減少が求められる指標であるため、2 期に対して増えていることは説明が必要。・ 本編 p94 の第 4 章について、継続だけでなく駐輪場の整備も視野に入れる記載をいただいている。・ 本編 p96 の利用料金の見直しについて、令和 9、10、11 年度で進めていくものとしているが、これとともに条例に記載している自転車 200 円上限の壁について、条例の改訂を含めて検討してほしい。・ 本編 p97 の放置禁止区域以外の取組について、バス停付近のことを想定されているものと思う。令和 10 年度の実現に向けて期待している。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none">・ 1 つめ。屋根の設置について、指定管理者より意見をいただいていることは理解している。各施設固有の課題もあるため、協議しながら検討していきたい。・ 2 つめ。写真の関係については、後日確認させていただく。・ 3 つめ。事故件数の目標設定について、第 2 期で 900 件、第 3 期で 930 件となっている。第 2 期は川崎市総合計画策定時に、これまでの減少傾向から令和 7 年までの 10 年間の目標値 900 件を設定している。第 3 期は令和 7 年より次期川崎市総合計画となることから、再度これまでの減少傾向から目標値を算出した結果、930 件と設定した。しかしながら、ご指摘のとおり自転車事故件数の目標が後退したとみられる部分もあるため、目標値をどこに設定するか、引き続き検討し判断させていただく。・ 4 つめ。利用料金の見直しに向けた検討について、令和 9 年に指定管理者制度の第 3 期が始まることから、これに向けて改訂していきたい。条例に定める上限については、収支状況を踏まえて必要に応じて検討していきたい。・ 5 つめ。禁止区域外への対応について、川崎区のバス停周辺の放置自転車の問題が顕在化している中で、バス利用者が放置している状況が見受けられる。駐輪場整備を含めて検討していきたい。なお、全市的にどう展開していくのかを含めて検討が必要であり、川崎区等で試験的に取組んだ後、他の区にも展開していくのか、引き続き検討していきたい。 |
| 金子委員 | <ul style="list-style-type: none">・ シェアサイクルについて、利用者マナーが非常に悪く、駐輪場に適当に置いていくような状況も見られる。その辺もしっかり周知してもらえよう願う。 |
| 越田委員 | <ul style="list-style-type: none">・ 1 つめ。自転車利用について年々、自転車が減少傾向にあることはご存じと思う。国の自転車産業振興協会が公表している統計データ等でもどのように下がってきているかを含 |

めて示している。神奈川県防犯登録枚数は10年前に比べて20%ダウンしている状況もあり、参考にいただければと思う。シェアサイクルについて利用者が増えていると感じるところはある。シェアサイクルの需要、供給について、計画を立てる時には想定しておいたほうがよいのではないか。

- ・2つめ。ルール、マナーについて、事業としては切り分けられていると思うが、川崎市市民文化局から毎年周知ツールを提供いただいている。色々な部署、関係主体等が連携して色々なツールが作られると思うが、予算削減を考えると連携していただくとうい。今年送られてきたのはルールブックであり、基本的には同じだが、青切符制度、特定小型原付に関する事項が加わっている。
- ・色々な啓発ツールがあり、色々な情報発信が行われていると思うが、効率的に広報を行うためにはどうするか、宝の持ち腐れになっている状況でないか。
- ・また、交通安全教育に関しては、大人に対する教育も重要ではあるが、小学校での教育を強化したほうがよいと思う。小学校の道徳の時間を使って教えるとか、効果があるのではないか。

- | | |
|------|---|
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none">・自転車の利用率に関する情報提供について、統計データとして活用させていただく。・シェアサイクルについて、増えていっているという認識があり、自転車との販売台数との比較等も含めて検討していきたい。・交通ルール遵守に関するスマートガイドなどは、市民文化局より提供いただき、イベント等で配っており、引き続き連携して広報していければと思う。 |
| 川邊委員 | <ul style="list-style-type: none">・駐輪場の満足度調査として何%とかあるが、場所ごとに駐輪ニーズは異なることが考えられる。個別の状況を踏まえて対策を進めていただければと思う。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none">・駐輪場の満足度など、地域性があることや、自由意見として多様な意見もいただいているため、個別に確認、対応していく。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none">・いただいた意見を整理し、引き続き計画書としての精度を高めていくことを基本としたうえで、本日提案した計画素案について、概ね了承いただいた、ということよろしいか。 |
| 委員各位 | <ul style="list-style-type: none">・異議なし |

議事3 取組スケジュールについて

- | | |
|------|--|
| 事務局 | 「資料3 今後の予定」に基づき説明 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none">・ただ今の説明に対し、ご意見、ご質問等がありますか。 |
| 川邊委員 | <ul style="list-style-type: none">・パブリックコメントについて、一般の方にはどの資料をもって確認いただく予定か。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none">・基本的には資料2の概要版をもって対応するが、参考資料として本編も閲覧できるように配慮する。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none">・本日の懇談会について、すべての議事を終了しました。ありがとうございました。 |

以上